



<http://style-us.jp>

An **impress** Group Company

各 位

2015年5月20日
Style us 株式会社

お弁当の傷み・食中毒予防アイデア

ベスト3回答は、「梅干しを入れる」「凍らせたゼリーを入れる」「保冷剤を入れる」

インプレスグループで、女性向けインターネット事業を手がけるStyle us（スタイラス）株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎綾）は、自社で展開する身近系happy共有サイト「goopy（グーピー）」に寄せられた、お弁当の傷み・食中毒予防アイデアに関する投稿を集計し、発表いたします。

5月に入って一気に季節が進み、真夏日を記録する地域も出てきました。気温が上昇してくると気になるのがお弁当の傷みや食中毒。厚生労働省の統計によれば、「サルモネラ」や「カンピロバクター」などの細菌が原因の食中毒は、気温の上昇と連動して増加するため、これからの季節は特に注意が必要です。また、同省の平成26年度のデータによると、お弁当を含む「家庭」で発生した食中毒は全体の8.1%を占めており、同省のサイトでも注意喚起されています。そこで今回は「お弁当の傷み・食中毒予防アイデアベスト3」という質問に寄せられたユーザーのベスト3回答を集計し、お弁当の傷みや食中毒を防ぐため、goopyユーザーがどのような対策を採っているかを探りました。

最もポイントを集めたのが「梅干しを入れる」。167ポイントで2位に50ポイントの差をつけて1位にランクされました。「定番の食中毒予防法。ご飯に乗せるだけ。手っ取り早く出来るのが良いです（神奈川県・女性）」と、昔からの生活の智慧であり、最も一般的な食中毒予防策であり、とても簡単にできる点を多くの方が挙げています。また「殺菌効果もありますし、夏場は梅干しのクエン酸が夏バテ防止にもなるので一石二鳥です（青森県・女性）」と、豊富なクエン酸などが夏場の栄養補給になる点を指摘している方もおられました。

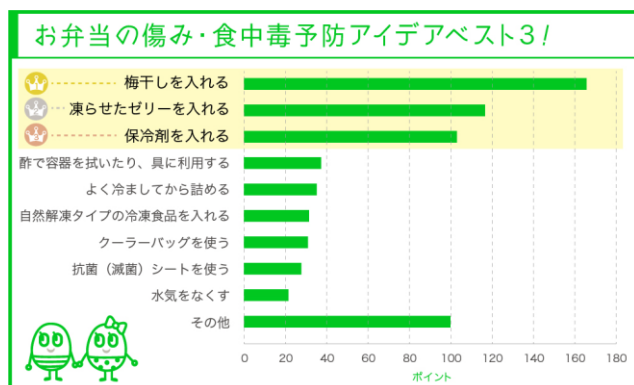
2位には117ポイントで「凍らせたゼリーを入れる」が入りました。「凍らせた一口ゼリーを保冷剤代わりに使います。子供もデザートになり喜びます（神奈川県・女性）」と、デザート代わりにするゼリーを凍らせて、保冷剤として使う方が多数おられました。

3位には103ポイントで「保冷剤を入れる」が入りました。「ケーキなどについている保冷剤を、お弁当箱を包む時に一緒に入れていきます（宮城県・女性）」と、ケーキなどに付いてくる保冷剤を利用している方が多数いらっしゃいました。

4位は38ポイントで「酢で容器を拭いたり、具に利用する」、5位には36ポイントで「よく冷ましてから詰める」、6位には34ポイントで「自然解凍タイプの冷凍食品を入れる」が入りました。4位以下にも特長あるコメントが寄せられています。

< 酢で容器を拭いたり、具に利用する >

おかずには酢を使うほか、詰める前のお弁当を酢を染み込ませたペーパーで拭きます（青森県・女性）



【データ】 Style us 株式会社の運営する、身近系 happy 共有サイト「goopy」でのベスト3お題「お弁当の痛み・食中毒予防アイデアベスト3

(<https://goopy.jp/bests/ranking/341>)への回答を集計。1位回答3ポイント、2位回答2ポイント、3位回答1ポイントとして2015年5月18日時点のデータを集計。回答数113。

食品が傷んだり食中毒になる原因は、原因菌の増殖です。お弁当での予防ポイントには、食品内の菌を除去（減らす）すること、弁当箱の中の水気を減らすこと、お弁当の温度を上げないこと、の3つがあります。今回1位の「梅干しを入れる」は、梅干しの塩分と酸のもつ殺菌効果を利用したものですし、2位の「凍らせたゼリーを入れる」と3位の「保冷剤を入れる」は、お弁当の温度を上げない手法です。また5位の「よく冷ましてから詰める」、9位の「水気をなくす」は弁当箱の水気を減らすタイプのもので、これからますます気温が上がり、細菌の活動も活発になってきます。食中毒から家族を守るため、お弁当にはしっかりと対策を施したいものですね。

◇みんなが選んだ「お弁当の痛み・食中毒予防アイデアベスト3」まとめ

<https://goopy.jp/bests/ranking/341>

今後も Style us 株式会社では、goopy に寄せられたユーザーの回答を定期的に集計・分析し、ユーザーのリアルな嗜好や傾向を発信してまいります。

以上

【goopy (グーピー)】 <https://goopy.jp/>

”あなたの good でみんなと happy ♪” をモットーに、女性が手軽に口コミを投稿・閲覧できるうえ、地域の店舗にも新たな広告宣伝の門戸を開くことで、女性の生活をより豊かにできる、新しいエコシステムを備えたメディアです。

【Style us (スタイラス) 株式会社】 <http://style-us.jp>

女性が明るく素敵に暮らすためにできることがまだまだたくさんあると、私たちは考えています。「私たちのスタイル」の意味を持つ Style us は、これからも女性のための豊かな生活価値を創造してまいります。

【インプレスグループ】 <http://impress.jp/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：関本彰大、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

【本件に関するお問合せ先】

Style us 株式会社 担当：岩崎

Tel: 03-5275-1227 / E-mail: <mailto:info@style-us.jp>